２２１４０００３

佐倉仙汰郎

1. メール受信で使われるプロトコル

POP、IMAP

1. 日本国内におけるサーチエンジンのシェアについて調査し，調査機関や調査対象期 間，海外シェアと比較しての特徴について説明せよ．

グラフ, 折れ線グラフ

自動的に生成された説明

テーブル

自動的に生成された説明令和4年　情報通信に関する現状報告の概要（総務省）

上図は世界の検索エンジンのシェア率と日本の端末別検索エンジンのシェア率である。

日本ではパソコン、スマートフォンともにgoogle, Yahoo, Bingの順で利用されている。Googleのシェア率は非常に高く両方共、約７５％を占めている。つづいてYahoo!のシェア率はパソコンとスマートフォンで違いがあり、スマートフォンでの利用率のほうが高く２４，２％を占めている。Bingが第三位となっているがシェア率はGoogle、Yahoo！に比べると非常に低くPC、スマホで１％にも満たない。このことから国内の検索エンジンはほぼGoogleとYahoo！の寡占状態であることが分かった。

世界における検索エンジンのシェア率はGoogleが圧倒的なシェア率をしめていて、２０２２年では９４％を占めていてほぼ独占状態である。国内ではシェア率がやや高かったYahoo！は世界でも３位のシェア率を占めるが、およそ３％ほどで、Bingよりも下位になっている。

（３）

a)　なし

ｂ）

1)餃子　OR　からあげ　→　p1,p2,p3,p4,p5

2)餃子　AND からあげ　→　p1,p2

3) 1) and not 2)

4) p1,p2,p3,p4,p5 and p3,p4,p5

5) p3, p4, p4

6) なしP３、P5

したがって

なし、Ｐ３、Ｐ５

ｃ）